


病院周辺ガイドマップ

ISO hospital

宝塚磯病院 看護部

私たちと一緒に働きませんか



 西宮北口ガーデンズ

理念

宝塚磯病院の基本理念

1. 患者さま本位のまごころ医療
2. 納得できる診療・看護・介護
3. 地域社会への貢献
4. 4つのA「安全・安心・安静・安定」の推進

看護部理念

1. 安心安定した、質の高い看護を提供します
2. 多職種協働したチーム医療を提供し、地域のニーズに対応します。
3. 透明性と倫理性に基づいた看護を提供します
4. 専門職として自己研鑽し、学ぶ姿勢を持ち続けます
5. 誇りとやりがいを持って働ける職場作りを実践します



ごあいさつ

当院は宝塚市で唯一、医療療養型の病床（160床）を有しています。医療ケアの必要度が高く、継続的な治療療養を要する、患者受け入れの役割を担う為、急性期・総合病院と連携強化、シームレス化を目指しています。

看護部においては、医療を継続しながらも、「その人らしく生きる」を支える看護の提供を一番に、看護・介護の連携で細やかなケアが提供できるよう、チームワークを大切にしています。ケアの提供場面で「その人らしく」「生きる」「支える」とは何かじっくり考え、質の向上につなげていきたいと考えています。

その為にも、看護部が元気であること、看護職員一人一人が楽しく、生き生きと働き続けられるような職場環境や教育体制を整えて行くことに力を入れています。

じっくりと「看護とは何か、介護とは何か」、一緒に考えていきませんか。

看護部長 白井 智子

病棟紹介

4階病棟

病床数54床

スタッフ数：看護師15名、介護士12名

2022年度 4階病棟目標

1. 患者の人権を尊重した安全で思いやりのある看護・介護を提供する。
 - ①常に笑顔で明るく丁寧な声掛けを行う
 - ②業務改善を行いベッドサイドケアの時間を確保する
 - ③インシデント・アクシデントレポートを元に学習会を実施する
2. 専門職業人として正しい知識・確実な技術の向上に努め根拠に基づいた看護・介護を行う
 - ①クリニカルラダーレベルに基づき自己研鑽しレベルアップできる
 - ②カンファレンスで1回/月勉強会を行う
3. 多職種と連携を充実させ患者・家族が望むゴールへ進むことができるよう支援する
 - ①入院に対する患者、家族の思いを傾聴し、医師と情報を共有する
 - ②入院後に退院支援の必要な患者のスクリーニングを行う
 - ③退院支援の必要な患者を地域医療室に相談する

ごあいさつ

家庭を持っているスタッフが多く、現在、子育て奮闘中のスタッフもいます。相談しやすく、働きやすい雰囲気、子供の急な体調不良でお休みになる場合も、理解や協力を得やすい職場です。このように経験や知識も豊富な看護師、介護福祉士と協働し合い、患者様のケアに幅広い意見や感性を生かしながら日々、看護を実践しています。

病棟師長 梅田 清恵



日勤の流れ

8:30



朝礼
申し送り
ペアの看護師・ケアワーカー
と打ち合わせ



患者ラウンド



点滴、内服薬の準備
保清

9:30



オムツ交換
検温・記録



11:00



注入
昼食の配膳
食事介助



12:00



昼食
休憩

13:30



病棟カンファレンス
保清



褥瘡回診 (毎週木曜日)

14:00~16:00



患者ラウンド
オムツ交換
注入

16:30



夜勤者へ引き継ぎ
記録

17:00



終礼・振り返り

17:30



終業

教育

看護師のクリニカルラダー (JNAラダー参考)

*看護師の核となる実践能力: 看護師が倫理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨場面で実践する能力

レベル毎の定義	看護の核となる実践能力			
	ニーズをとらえる力 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアする力 助言を得ながら、安全な看護を実施する	協働する力 関係者と情報共有できる	意思決定を支える力 ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る
I 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践できる	<ul style="list-style-type: none"> ■助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ■ケアの受け手の状況から緊急度を捉えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■指導を受けながら看護手順に沿ってケアが実施できる ■指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる ■看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる ■助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる ■助言を受けながらケアに必要な判断した情報を関係者から収集することができる ■ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる ■報告・連絡・相談ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる
II 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践できる	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手や状況(場)のニーズを自ら捉えられる ■自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ■得られた情報をもとにケアの受け手の全体像として課題を捉えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる ■ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる ■ケアの受け手の状況に応じた細やかな援助ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■看護展開に必要な関係者を特定し情報交換できる ■ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を積極的に情報交換できる ■病棟スタッフと密にコミュニケーションを取り、メンバーの役割が果たせる ■看護の方向性や関係者の状況を把握し、病棟カンファレンス等で情報発信できる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる ■ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に分かち合うとする行動ができる ■確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる
III ケアの受け手に合う個別的な看護を実践できる	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる ■ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえた必要な情報収集ができる ■得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手の個別性に合わせて、適切なケアを実践できる ■ケアの受け手の顕在性・潜在性ニーズを察知してケアの方法工夫ができる ■病棟スタッフのモデルを示せる看護実践ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる ■ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、関係者と協力しながら多職種連携を進めていくことができる ■ケアの実践に当たってはメンバーシップが発揮できる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる ■ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを理解できる ■ケアの受け手や周囲の人々の意向を多職種に代弁できる
IV 幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ■予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ■意図的に収集した情報を統合して、ニーズをとらえることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる ■幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践できる ■実践にあたっては病棟スタッフのモデルを示し、スタッフの指導ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手が置かれている状況(場)を捉え、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる ■多職種間の連携が機能できるよう、リーダーシップを発揮する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要情報を提供できる ■ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを理解できる ■ケアの受け手や周囲の人々の意向を多職種に代弁できる
V より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ■複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる ■ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護及び看護以外の分野)を動員し、ケアを実践し、指導できる ■複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす ■ケアの受け手の複雑なニーズに対して、多職種の力を引き出し連携に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ■複雑な状況(場)の中で見えにくくなっていくケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる ■多職種連携が十分に機能できるよう、その調整的役割を担うことができる ■関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる ■目標に向かって多職種の活動を引き出すことができる



当院は自主応募者のみ採用致します

募集職種	看護師 (非常勤、CWは別途募集してます。詳細は当院のHPを参照下さい。)
年齢	23歳～50歳
募集人員	若干名
業務内容	病棟看護業務
給与	<p>基本給：170,000～240,000円 資格手当：30,000円 調整給：0～30,000円 夜勤手当：49,760～77,700円 (4～6回、深夜割増含む)</p> <p>*勤務経験により優遇します</p> <p>卒後3年目：月給254,760円 (夜勤手当4回含む) 卒後3年目理論年収：4,057,120円 月給：270,000～305,000円 (夜勤手当4～6回含む) 年収：4,380,000円～4,750,000円</p>
勤務体系	勤務時間：2交代勤務 日勤：8:30～17:30 夜勤：16:30～翌9:30
その他	賞与：年2回(6月・12月) 賞与月数 計5ヵ月(前年度実績) 昇給：年1回(4月) 退職金制度：あり 人事考課制度：あり 給食補助：あり



Check!

支度金制度

自主応募者が応募条件を満たし、採用選考を受け入職に至った場合、以下のとおり支度金を支給いたします。

応募の条件は、看護師、准看護師、介護士においては、常勤の場合は夜勤を最低4回以上、非常勤の場合は週20時間以上、または週1回以上の夜勤に従事できる夜勤専従者といたします。

常勤看護師	100,000円
非常勤看護師	50,000円
常勤介護士	50,000円
非常勤介護士	30,000円

注) 支度金は昇給や賞与の査定には連動致しません

ご応募、
待ってます

お問合せ先
t-somu@isohosp.com
 0797-62-6632



看護師 常勤看護師 入職6年目

Y.Y 50代

高齢の患者様が多いため「人生の最後を安全で安楽に、心穏やかに過ごせるよう」をモットーに生活の援助をさせて頂いてます。若いスタッフが多いので、自身の子育ての経験をアドバイスしたり、若いスタッフからは新しい気持ちをもらったりと、楽しく働いています。

看護師 常勤看護師 入職9年目

M.Y 40代

スタッフそれぞれが、今まで経験してきた知識を活かし、年齢・経験年数関係なくお互いが同等の立場で意見が出しあえる職場環境です。

またスタッフ間のサポート力もある為、忙しい時も楽しい雰囲気です。全員定時退社できるように取り組んでいます。コロナ禍で患者様、家族様の面会も制限されている中で、不安も大きいと思いますが、少しでも寄り添える患者様、家族様のご意見を尊重したケアを実践しています。



看護師 非常勤看護師 入職5年目

S.K 30代

療養生活が長い患者様が多く、日々の僅かな変化にも気付きを得ていくことが非常に重要と考えています。大変な事もありますが、経験豊富なスタッフに相談しやすく、学ぶ機会にもなっています。子供の急な体調不良でもシフト調整して頂き、残業もあまりありませんので、家庭と仕事を両立するには本当に恵まれた職場です。

介護福祉士 常勤介護福祉士 入職7年目

N.O 40代 (リーダー)

当院に入職するまでは、約20年間介護施設で勤務していました。療養型病院で勤務するのは初めてだった為、不安もありましたが、先輩方から丁寧に教えて頂き、不安な気持ちも直ぐになくなりました。今では新しいスタッフにチームワークの大切さを伝え、意見交換の場を沢山作るように心掛けています。時には難しさを感じることもありますが、様々な助言を頂きながら、共に成長して行きたいと思っています。

「さあ、今日も頑張ろう！」と声を掛けながら、毎日楽しく働いています。



当院は褥瘡対策に力を入れています。
その様子を視聴されたい方は
t-somu@isohosp.comに
ビデオ視聴希望とメールして下さい。
URLを返信します。